

平成26年度タウンミーティング

期 日	平成26年3月17日(火) 19:00～20:58
会 場	大洗町漁村センター 研修室
対 象 者	観光関係団体，漁業・水産業関係団体，農業関係団体 工業・建設業関係団体 (観光協会・商工会・大洗漁組・大湊沼漁組・水産加工・仲買人・担い手・土地改良区・認定農業者・農業委員会・JA水戸大洗そ菜・建設工業会・建設業協議会・木工組合・指定給水装置工事事業者組合・排水設備指定工事店組合)
町 執 行 部	町長，副町長，理事兼まちづくり推進課長，町長公室長， 教育委員会次長兼学校教育課長，福祉課長
出 席 者	70名

町 民： ・平成27年度予算（案）について，「松川交流拠点施設整備事業」とあるが，具体的にどんな建物ができ，どんな活用方法を考えているのか。

町 長： ・交流拠点施設の整備を予定し，農業の6次産業化，地域住民の交流や憩いの場，また，周辺にある涸沼を利用し，子どもたちへ漁業体験の場など自然と触れ合える場が提供できるようにしたいと考えている。

町 民： ・宿泊施設の整備は。

町 長： ・現在のところは考えていない。

町 民： ・住宅リフォームの補助金の期間の延長をお願いしたい。
・千葉県では移住促進のため，空き家を週末限定のシェアハウスという形で提供しているので，是非，大洗町でも検討していただきたい。

理事兼まちづくり推進課長：

- ・住宅リフォームの補助金については，引き続きの実施を予定している。
- ・空き家の利活用については，移住のお試しという意味でいいアイデアなので活用の可能性を検討していきたい。

町 民： ・介護保険について，資料中に記載のある高齢化の推計の伸び率

と比較して、要介護認定者数の推計の伸び率が大きいように思えるが、過大な積算ではないのか。また、介護保険費用の抑制のため、健康の推進を図っていったほうがいいのではないのか。さらには、健康の人には何か特典はないのか。

- ・統合小学校について、校舎とグラウンドの整備を同時に進めていくと、南中学校の生徒の学校生活に支障が出てきてしまうのではないのか。
- ・統合後の大貫小・夏海小の空き校舎について、その後はどういった利活用方法を考えているのか。

福祉課長：・要介護認定者の推計の伸び率については、データ等を基にして算出しており、決して過大な積算ではないことをご理解いただきたい。また、介護保険費用の抑制のため介護予防対策として、町内の各事業所と連携して体力づくり、口腔ケア、シルバーリハビリ体操等を実施している。さらに、健康な人への特典については、町の独自政策での対応になってしまいうことにご理解いただきたい。

教育委員会次長兼学校教育課長：

- ・統合小の施設整備については、大洗総合運動公園の利用を含めた多少の不便をお願いするかもしれないが、なるべく生徒たちの学校生活に支障が出ないような形で整備を進めていく。

町 民：・南中学校では今年の秋の運動会は実施できるのか。

教育委員会次長兼学校教育課長：

- ・今のところは実施できる見込みである。ただし、工事の進捗状況によっては、大洗総合運動公園での実施の可能性もありえる。

町 長：・祝町小を含めた空き校舎の利活用については、公共施設の今後の検討の中で進めていく予定であり、例えば、大貫小であれば、民間への払い下げ、耐震化して再利用、夏海小であれば、6次産業の拠点、農家レストランなどが考えられる。いずれにしても、地域の皆様の意見を踏まえながら適切な対応をしていきたい。

町 民：・町の用地買収に応じ土地を提供したが、そこでの工事の際に砂ぼこりが舞うことが多い。町の事業のために用地買収に応じたので、地域住民に対して事業内容についての説明が欲しいし、

また、目に見える形での整備をお願いしたい。

町 長： ・「松川交流拠点施設整備事業」は郡司さんを始めとした地権者や松川地区の皆様の協力があって実現した。是非，一日も早く施設を整備して松川地区の方々に利用してもらえるような魅力的なものにしたい。

副町長： ・農林水産課を中心に事業をおこなっており，地域の方々と協力しながら事業を進めていきたい。

町 民： ・松川地区の有志で周辺のゴミ拾いを実施しているが，無断で捨てられるゴミの量がなかなか減らないので，注意喚起の看板の設置をお願いしたい。
・神山十文字付近の狹隘道路の拡幅をお願いしたい。

町 長： ・注意喚起の看板の設置については，現場確認をしながら検討していきたい。
・狹隘道路の拡幅については，現在，用地買収を進めており，用地の確保が終わり次第，工事を開始していく予定だ。

町 民： ・平成27年度予算（案）について，予算の規模が数年前と比べて倍になっているが，職員の数には足りているのか。特に，商工観光課は不足しているように思われる。

町 長： ・復興事業を進めていくにあたって，どうしても現場を担当する部署の人数を増やさざるを得ない。また，職員を増やしてしまうと事務的経費も増えてしまう。適正な人員配置をおこなって対応していきたい。

町 民： ・平成27年度予算（案）について，都市計画道路船渡大洗船はこの道路のことを指すのか。
・「原子力の町」という旗じるしをおろしてもらいたい。

町 長： ・都市計画道路船度大洗線は大洗駅の前の道路を駅を右手に大貫町を進んでいき船渡地区で行き止まりになっており，そこから大貫台方面に上がっていく道路である。事業費は全額国費で町負担はない。
・大洗の町民憲章には「原子の火を育て」とあり，また，町内には原子力の研究拠点があり，そこでは原子力の研究だけではなく

く人材育成もなされており、大洗町にとっても非常に重要な拠点になっていることをご理解願いたい。

- 町 民：
- ・大洗サンビーチの現在の整備状況を教えて頂きたい。また、会わせて、今夏のサンビーチの展望もお聞きしたい。
 - ・観光客への広報はどういったものを考えているのか。

理事兼まちづくり推進課長：

- ・サンビーチは現在、ブロックの製作・据付をおこなっており、夏前まで実施していく予定である。夏の海水浴期間中、工事は休止し、秋以降に工事が再開され、平成27年度中には完了する予定である。なお、町の事業は、ブロックの製作・据付が終了後、着手していく予定であるが、ビーチスポーツが出来るような広場や芝生、ビーチセンターなどの整備を予定している。

商工観光課長：

- ・地方創生の交付金を活用しフリーペーパーや様々なメディアを通じて町をPRしていくとともに、その効果測定や検証等を実施しながら有効な手段を講じていきたい。

閉 会 20：58